2024 令和 6)年３月２１日(木)　　国立市立国立第三中学校
第二学年通信　第 18 号　　文責

# Airplane

## 在校生送る言葉

第四十八回卒業式

あれほど厳しかった冬の寒さも、今では柔らかな春の日差しへと移ろい、先輩方と共に過ごした学び舎を暖かく照らしています。

この穏やかな春の日に、国立第三中学校を巣立つ第四十八期卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

私たち在校生は、本日、全員がこの場に集うことはかないません。しかしながら、先生方のご配慮で、この晴れの場に参加し、卒業される皆様へご挨拶できる機会を与えていただいたことを、私たち生徒会本部役員は、本当にうれしく思っております。

さて、卒業生の皆様、今まで本当にお世話になりました。

二年前、入学したばかりで、不安と緊張で一杯だった私たちに、明るく声をかけ、笑顔で接してくれた先輩方の姿を、私は今でも鮮明に覚えています。私たちは、先輩方のおかげで、すぐに中学校という新しい環境に慣れ、様々なことに積極的に挑戦できるようになりました。勉学にも、行事や部活動にも、常に何事も全力で取り組み、文武両道であった先輩方の姿は、私たち下級生にとって、大きな目標になりました。

卒業生の皆様、皆様は今、国立第三中学校で過ごした三年間を、どのように振り返っているのでしょうか。

毎日の授業、委員会や係活動、体育祭や合唱コンクールあるいは修学旅行といった行事、そして部活動。三年間の日々の積み重ねと、たくさんの出会いと学び、様々な人と結んだ絆の中で、色鮮やかな思い出を築き上げ、その成果と思い出の集大成としての卒業証書が、皆様の手には、しっかりと握られているのですね。

そんなかけがえのない中学校での生活を改めて思い返すとき、皆様の胸の中には、仲間との別れの寂しさと、大きく膨らむ未来への期待とが、入り交じっているのかなと、私は思います。

本日このの ち、国立三中の校門を後にしたそのときから、皆様は、一人一人の希望に向かって、別々の道を歩まれるのだと思います。

時には、苦しくて厳しい壁が待っているかもしれません。でも、そんなときは、この国立三中で過ごした、素敵な日々を糧に、前に進み続けてください。

私たち在校生は、皆様の卒業した後に、最上級生、あるいは中堅学年として、国立三中を引っ張っていかなければなりません。皆様のようにしっかりと、それができるだろうか、とても不安な気持ちもあります。皆様が築かれた伝統を引き継ぎ、さらに新たなものを積み重ねられるよう、精一杯努力します。先輩方、そんな私たちを、どうか、これからもずっと見守ってください。

頼もしい、憧れの存在として、私たちを常にリードし続けてくれた先輩方、これまで本当にありがとうございました。

先輩方、ご機嫌よう。いつか再び会える日を願っております。その日まで、お元気で。

卒業生の皆様の、ますますのご活躍を心よりお祈りして、送る言葉といたします。

令和六年三月十九日
在校生代表

### 第 49 回卒業式へ向けて

第 48 回卒業式は、一昨日 3 月 19 日(火)、本校体育館で、保護者の皆さん及び、教育長先生はじめ多数のご来賓ご臨席のもと挙行され、第 48 期卒業生 129 名の先輩達が、各自の決めた進路へ向けて、力強い第一歩を踏み出していきました。

次はいよいよ皆さんの番ですね。一年後の第 49 回卒業式へ向けて、カウントダウンが始まっています。